学校番号	３０２０

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅡ	3	3	【教科書】 ・Vivid English Communication Ⅱ（第一学習社） 【副教材】 ・Vivid English Communication Ⅱ WORKBOOK（第一学習社） ・英単語ターゲット 1200（旺文社） ・英単語ターゲット 1200 Workbook ②（旺文社）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅡの目標は、「英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報 や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。」ということです。
・様々な言語活動を通じて、「話すこと」「書くこと」「聞くこと」「読むこと」という４技能をバランスよく身につく授業をめざします。これまでに学んだことを基礎として、さらに高度な技能を定着させるため、積極的に授業に参加してください。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・趣味やクラブ活動などの身近なトピックについてゆっくり、はっきりと話されれば具体的な情報を聴き取ることができる。 ・日常で経験するような一連の行動の手順について、ゆっくり、はっきりと指示されればその通り行うことができる。	・やさしい英語で書かれた物語を読みきり、全体の筋を理解することができる。 ・300 語程度の英文を、複雑なところは時間をかけて読み、全体の要旨を理解し、大事な点をもれなく理解することができる。	・簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）をすることができる。 ・身近なトピックや知識のあるテーマについて、簡単な語や表現を用いて意見や情報を交換することができる。	・絵、写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明することができる。 ・興味・関心のある分野のテーマに関する資料の概要や要点を説明することができる。	・自分のことや学校、地域のことなどの簡単な紹介文を書くことができる。 ・簡単な語や基礎的な表現を使いながら、and, but, because 等で文と文をつないで、説明文などまとまりのある文章を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身につけている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Lesson 5 True Love between a Cat and a Dog	聞くこと	a: リズムやイントネーション、音の変化など、英語の音の特徴に関する知識がある。 b: 英文を聞き取り、内容を理解することができる。 c: 教科書を見ずに本文の音声を聞こうとしている。	-授業での取り組み -課題などの提出
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: 本文の内容を整理して読み取り、問題に解答できる。 c: 内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	-課題などの提出 -定期考査
		話すこと（やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる b: 本文から整理・理解した内容を活用して活動に取り組むことができる。 c: 題材内容に肉付けしながら、自分の言葉で説明しようとしている。	-授業での取り組み -パフォーマンステスト
		書くこと	a:群動詞（受け身）、進行形（受け身）、関係副詞(制限用法・非制限用法)を用いた文を理解できる。 b: 日英の語順の違いを理解し、その知識を役立てて英語を書くことができる。 c: 題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとする。	-課題などの提出 -定期考査
	中間考査			
	Lesson 6 A Society with Drones	聞くこと	a: リズムやイントネーション、音の変化など、英語の音の特徴に関する知識がある。 b: 英文を聞き取り、内容を理解することができる。 c: 教科書を見ずに本文の音声を聞こうとしている。	-授業での取り組み -課題などの提出
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: 本文の内容を整理して読み取り、問題に解答できる。 c: 内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	-課題などの提出 -定期考査
		話すこと（発表）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア、グループでの対話練習、相手の理解を確認できる。 c: 積極的に話そうとしたり、発言したりする態度がみられる。	-授業での取り組み -課題などの提出
		書くこと	a: 時や理由などを表す副詞節、分詞構文（現在分詞）、推量を表す助動詞、助動詞+have+過去分詞を用いた文を理解できる。 b: 日英の語順の違いを理解し、その知識を役立てて英語を書くことができる。 c: 題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとする。	-課題などの提出 -定期考査

	期末考査			
2	Lesson 8 Peace Messages from Hiroshima	聞くこと	a: リズムやイントネーション、音の変化など、英語の音の特徴に関する知識がある。 b: 英文を聞き取り、内容を理解することができる。 c: 教科書を見ずに本文の音声を聞こうとしている。	-授業での取り組み -課題などの提出
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: 本文の内容を整理して読み取り、問題に解答できる。 c: 内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	-課題などの提出 -定期考査
		話すこと（やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア、グループでの対話練習、相手の理解を確認できる。 c: 積極的に話そうとしたり、発言したりする態度がみられる。	-授業での取り組み -課題などの提出
		書くこと	a: 倒置、S+V+O+C（原型不定詞・現在分詞・過去分詞）、同格の that を用いた文を理解できる。 b: 日英の語順の違いを理解し、その知識を役立てて英語を書くことができる。 c: 題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとする。	-課題などの提出 -定期考査
	中間考査			
	Lesson 9 Invigorating Our Local Community	聞くこと	a: リズムやイントネーション、音の変化など、英語の音の特徴に関する知識がある。 b: 英文を聞き取り、内容を理解することができる。 c: 教科書を見ずに本文の音声を聞こうとしている。	-授業での取り組み -課題などの提出
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: 本文の内容を整理して読み取り、問題に解答できる。 c: 内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	-課題などの提出 -定期考査
		話すこと（発表）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる b: 本文から整理・理解した内容を活用して活動に取り組むことができる。 c: 題材内容に肉付けしながら、自分の言葉で説明しようとしている。	-授業での取り組み -パフォーマンステスト
		書くこと	a: 省略、完了不定詞、All you have to do is (to) 〜、仮定法を用いた文を理解できる。 b: 日英の語順の違いを理解し、その知識を役立てて英語を書くことができる。 c: 題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとする。	-課題などの提出 -定期考査
	期末考査			
3	Lesson 10 The Underside of Wildlife Tourism	聞くこと	a: リズムやイントネーション、音の変化など、英語の音の特徴に関する知識がある。 b: 英文を聞き取り、内容を理解することができる。 c: 教科書を見ずに本文の音声を聞こうとしている。	-授業での取り組み -課題などの提出
		読むこと	a: 文法などの規則にのっとって、英文の内容を正しく理解できる。 b: 本文の内容を整理して読み取り、問題に解答できる。 c: 内容を読んで理解しようとする態度がみられる。	-課題などの提出 -定期考査
		話すこと（やりとり）	a: 単語を正しい発音・アクセントで発することができる。 b: ペア、グループでの対話練習、相手の理解を確認できる。 c: 積極的に話そうとしたり、発言したりする態度がみられる。	-授業での取り組み -課題などの提出
		書くこと	a: 倒置、分詞構文（完了形）、as if + 仮定法、複合関係詞を用いた文を理解できる。 b: 日英の語順の違いを理解し、その知識を役立てて英語を書くことができる。 c: 題材内容に関連した自分の考えを書いて伝えようとする。	-課題などの提出 -定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度